

平成29年度 長野北幼稚園 「自己評価と学校[園]の関係者評価」

1、園の教育目標

(1) じょうぶな体の子 (2) やさしい心の子 (3) 心ゆたかな賢い子

2、本年度の重点目標

遊んで学び「できた」「つくれた」「わかった」がいっぱいの子どもに

- (1) 運動的遊びと食育で お友だちと楽しく遊び体力や運動能力を伸ばし、しっかり食べる。
- (2) 創造的な遊びで 描いたり作ったり歌ったりして感性を豊かにし創造力や器用さを培う。
- (3) 環境に働きかける遊びで 情操や感性を豊かにする。

3、自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTAや学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4、学校関係者評価委員会（モニター）からの評価

園の施設や設備は古いという指摘もあるが、それにもまして、「こじんまりとしたアットホームな雰囲気や園を大事にして一人ひとりの子どもの保育にあたっていただいている。とても一生懸命やっている先生方に感謝している」という評価をいただいた。また、園児募集については、「園庭で泥んこになって遊ぶ姿は、他の園にはない素晴らしい活動と思う。その姿を発信したらどうか」、「基本的な生活習慣や学習に向かう姿勢がしっかりと身について、小学校に入学しても安心していられる点を知らせる」というご意見をいただいた。

5、今年度の総合的な園評価と次年度への課題

小規模幼稚園の利点を活かし、アットホームでチームワークの良い職員集団により活気あふれる園運営ができた。園児募集にもマイナス要因として作用していると考えられる「園の教育環境」については、「施設・設備」の面で安全で快適な園生活が送れるよう、信学会事務局とも相談し今後対応を進めていく。

「教育課程・指導」、「研修」に関しては、本園が今年度の保育研究会「健康」の公開担当園であったり、幼稚園指導要領の改訂の時期であったこともあり、充実した研修会となった。また、「小1プロブレム」や「五つの壁」（※内容の壁、時間の壁、自立の壁、立場の壁、人の壁）を乗り越えられるよう教育課程を見返したり、小学校との連携を深めたりして職員の資質向上に努めていきたい。